

2024年(令和6年)度事業報告

I 2024年(令和6年)度事業の総括

2024年は、経済活動、日々の生活や助成先の活動はコロナ前にはほぼ戻ったとはいえ、世界情勢では2023年に続きウクライナ・中東情勢の不安状況は継続し、米中関係の悪化なども受けて、国内においても、物価の上昇傾向は続き、少子高齢化はさらに進み、社会保障問題、防衛問題など諸問題が複雑に絡み、不安定感が増した1年であった。

財団のこの1年を振り返ると、事業活動においてはコロナ禍前に内容・規模ともに戻り概ね順調であった一方、2023年度末に従来の基本財産であったベネッセホールディングス株式を全株売却し、その現金の資産運用によって活動資金・運営資金を調達する新しい形をスタートさせた1年であった。資産運用に関しては、当初設定ポートフォリオに基づいた運用を行い、ほぼ想定どおりの収益を得ることができ、今後の資産運用や会計処理作業の目途が見えてきた年となった。

また、2025年度から導入される「新しい公益法人制度・会計基準」に対応するために、外部研修等に積極的に参加して、情報収集に努め、準備を進めた。

2024年(令和6年)度の主な事業実績

公益目的事業 I 教育文化活動支援事業

1 表彰事業

福武教育文化賞(第6回)

- 「福武教育文化賞」の第6回目を実施し、3件(1個人、2団体)の贈賞を11月9日に岡山プラザホテルにて行い、受賞者から活動概要と今後の展開についての発表をいただいた。
- コロナ禍期間中休止していた式典終了後の交流会を昨年に続きに実施した。
- 選考委員会は、昨年同様、各選考委員には事前に推したい候補者をご提示いただき、それに基づき7月31日に対面で実施した。

【実施概要】

推薦受付	4月下旬～6月(市町村及び各教育委員会、報道機関、大学等約180の宛先に依頼) 5月下旬、県内の行政機関中心に訪問し推薦を依頼
推薦総数	11件(内、重複2件)[個人5件(内、重複1件)、団体6件(内、重複1件)] (2023年は、計12件、個人6件、団体6件)
選考	7月31日、岡山プラザホテルにて選考委員会を開催。3件(個人1件、団体2件)に決定
贈賞式	11月9日、岡山プラザホテルにて贈賞式を開催。招待者や受賞者関係者等約60名参加

受賞者	
木口 雄人	ピアニスト
NPO法人 科学わくわくクラブ	理事長 三宅 美郷
つやま城下ハイスクール	代表 和田 優輝

【選考方法検討会の実施】

選考委員会における選考委員との意見交換の結果、教育賞と文化賞が一本化されたことにより受賞対象者が分かりにくく、選考基準が曖昧になっているという課題が浮き彫りになった。この状況を踏まえ、事務局にて選考方法に関する検討会を実施し、従来の選考基準のうち特に重視すべき要素を精査し、一覧表としてまとめ視覚化した。さらに、本年3月に実施した選考委員へのヒアリング等で得られた選考の視点や評価基準等に関するご意見・情報を、2026年度の推薦要項に反映させていく予定である。

2 助成事業

(1) 教育文化活動助成(公募) <助成総額 2,998 万円>

申請区分は従来どおりとし、教育的・文化的な視点から岡山県内の地域振興に資する活動に対し支援した。

申請区分	助成対象となる活動
1	地域社会(コミュニティ)の活性化に取り組む活動
2	次世代育成に取り組む活動
3	教育の質の向上や普及に取り組む活動
4	文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

【実施概要】

受 付	2023年12月1日～2024年1月31日
応募総数	272件 (23年229件、22年216件、21年177件、20年241件、19年235件)
審 査	① 審査委員による事前審査(各担当部会の申請書を審査、評価点とコメントを依頼) ② 部会毎にオンラインで審査委員会を開催した。 (事務局にて部会ごとに事前審査結果を集計、これを基に審査委員会にて協議)
採 択	108件(採択率40%、1件当たり平均助成金額27.8万円)、総額2,998万円 3月16日、理事の過半数以上の同意を得て決定し、採否を応募者全員へ連絡した。
振り込み	4月中旬に助成金を助成対象の各団体・個人に振込んだ。
リエンション	4月 オンラインで2回実施、約100名が参加した。参加できなかった団体・個人には動画提供も行い、フォローした。 助成活動内容、資金使途の多様化、活動途中の内容・助成金使途の変更等の増加傾向があるため、事前相談窓口や助成対象経費の周知を行い、一年間の活動が円滑になるよう努めた。
エリア別情報交換	5・6月 活動に関するヒアリングと助成先団体・個人間交流を図るためエリア別情報交換会をオンラインで、備前・備中・美作の3エリア計6回実施した。参加者は延べ約60団体87名が参加した。
成果報告	オンライン成果報告会：8/31-9/3の4日間開催(計31団体・個人が成果報告) 各成果報告に対し、審査委員がコメントをした。延べ参加者数は約244名。報告会動画は、YouTubeで公開した。 対面形式による成果報告会：9月28日開催(会場：岡山プラザホテル) 6団体がステージ上でそれぞれの活動・成果報告を行い、その後、発表団体ごとにグループに分かれて質疑応答を実施した。参加者は約200名。成果報告会後には全体交流会も実施し、参加者同士での交流を深める様子が多く見られた。
そ の 他	2024年度から、従来助成申請額への減額観点が助成先に伝わりにくい点を改善し、原則求められる使途利用申請であれば申請どおりの希望額を助成し、全体が助成予算額に達するまで採択する方式に変更した。ただし、対象外経費については、審査委員会までに事務局内にて申請内容の確認を行った上で減額対応とした。

※ 助成活動における資金活用使途ルールの特明瞭化・徹底を推進したことで申請前・申請時の問い合わせ・相談が増加した。申請時の事前相談や助成金使途についての周知など、今後、より一層助成金活用ルールの徹底を図る必要がある。

(2) 福武教育文化賞受賞者フォロー助成 <助成総額 390 万円>

受賞後 3 年間、受賞者による申請に基づき助成することとし（年間上限 30 万円）、以下の 13 件に、各 30 万円助成した。

受賞年度	助成先	代表	活動テーマ
2023	大森 静佳	-	短歌に親しむための短歌イベント「晴れの国 短歌の午後」
	清水 ゆき (夢の降る街実行委員会)	-	ミュージカルチャリティー公演
	岡山檜の木少年少女合唱団	川崎 泰子	ヴォーカルアンサンブルコンテスト 2 部門W金賞受賞記念コンサート
	株式会社ありがとうファーム	木庭 康輔	相互理解を深めるためのおかやまインクルーシブフェスティバル
	玉野みなと芸術フェスタ 実行委員会	斉藤 章夫	混沌とした境界における、共存の在り方を問うパフォーマンス公演
2022	『美しい村の小さな芸術祭』 実行委員会	小林 照尚	美しい村の小さな芸術祭
	森野 美咲	-	森野美咲&木口雄人 デュオリサイタル
	上田手漉和紙工場	上田 康正	手漉き和紙技術による地域づくり～唯一無二の卒業証書を通して～
	おはなしの WA♪	遠藤 寛子	災害復興支援朗読会及び災害継承のための大判プリント絵本制作
2021	竹内 佑宜	-	津山藩士飯塚竹斎とゆかりの人々の魅力を伝える書画作品集の制作
	一般社団法人 The MOST	福田 廉之介	0 さいからのこんさーと
	杜のアート展実行委員会	藤原 恒雄	杜のアート展 2024
	瀬戸内国際芸術祭 たまの☆おもてなし推進委員 会 たまのチュード学生ガイド プログラムチーム	多田 一也	たまのチュード学生ガイドプログラム事業

(3) 特定の特色ある活動に対する助成（特定助成）<助成総額 2,239 万円>

2023 年度に引き続き、以下の 3 分類として助成した。

① 先進的事業助成 34 件 2,119 万円

新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成した。

分類	助成先<助成金額>	代表	申請活動名
国吉	国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生 講座<1,050 万円>	才士 真司	国吉康雄記念研究寄付講座の研究及び顕彰活動
高校・大学等 と地域の連 携・協働を推 進する活動	Wellness & Artistic Okayama <30 万円>	小比賀 美香子	健康と豊かな人生を創るためのビジュアルアート教育
	がくまび<28 万円>	松本 竜己	真備地区中学生の成長のための地域探究活動支援
高校生・大学 生アクション 助成	仁城 ひなた<20 万円>	-	イノベーションハーバー@みんなの給食室 PROJECT
	倉敷美観地区ベヒシュタイン活用委員会 <19 万円>	大原 碩人	障がい者と子どもの関心を広げるコンサートへの 招待活動
	備中「聞き書き」実行委員会映像制作チ ーム<20 万円>	山本 一葉	「聞き書き」～これからの生き方を考える～島合宿 と記録映像制作
	鹿島朝日高校カフェ部<20 万円>	木佐 葵	通信制高校生と社会との関わり応援活動

分類	助成先<助成金額>	代表	申請活動名
高校生・大学生アクション助成	岡山県立玉島商高等学校 探究チーム (タマタン) <17 万円>	嶋村 心優	高校生の実感した魅力をプロフェッショナルと発信プロジェクト
	岡山県立笠岡商業高等学校 笠 SHOP 「紫音燈籠」 <20 万円>	定岡 杏奈	北木島 DAIDAIGO! GO! ~「きたり」~
	はっとりこ <20 万円>	古川 理子	岡山県の魅力度・認知度向上のための、特産品を使った PR 活動
	NDSU 架けはしっ子 <20 万円>	有田 花梨	倉敷×キャンパス 架けはしっ子プロジェクト
	YKG 地域連携隊二代目 <10 万円>	川上 瑛太	捕って獲って採って食いまくる。矢掛のてっぺん撮ってみた。
	『雲の上カフェ』プロジェクト <20 万円>	守屋 小春	笑顔いっぱい! 雲の上カフェプロジェクト
多様な芸術文化鑑賞支援	霄のサロン <120 万円>	廣岡 辰哉	霄(よい)のサロン
	一般社団法人 クニヨシパートナーズ <50 万円>	伊藤 駿	国吉祭 2024CARAVAN と関連事業
	「岡山の美術」活性化事業実行委員会 <200 万円>	直原 秀次	「岡山の美術」活性化事業
	「森の芸術祭 晴れの国・岡山」実行委員会 <50 万円>	伊原木 隆太	アート鑑賞プログラム
	特定非営利活動法人 アートファーム <100 万円>	大森 誠一	旭川河畔における拠点形成と地域再生のプロジェクト
その他	公益社団法人 岡山県文化連盟 <100 万円>	若林 昭吾	文化芸術人材バンクを活用した学校出前講座
	いのちのおはなし岡山 <30 万円>	宇野 香織	より多くの子どもたちへ「いきるちから」を伝えよう
ハロー! ミュージアム	<p>◆対象エリア：美作・備中エリア（倉敷市を除く）</p> <p>◆内容：大原美術館作品鑑賞、対話型鑑賞、事前・事後学習</p> <p>◆助成額：バス代、入館料、講師謝金・派遣交通費等 実費（上限 20 万円）</p> <p>12 小学校 14 件（学年・クラス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久米南町立弓削小学校 ・津山市立東小学校（4 年 1 組） ・勝央町立勝央北小学校 ・美作市立美作第一小学校 ・総社市立総社北小学校（3 年） ・津山市立林田小学校 ・津山市立東小学校（4 年 2 組） ・津山市立広野小学校 ・浅口市立鴨方東小学校 ・総社市立総社北小学校（4 年） ・新見市立西方小学校 ・浅口市立鴨方西小学校 ・真庭市立川東小学校 ・美作市立勝田東小学校 		

※ 「高校生・大学生アクション助成」は、NPO 法人だっぴに高校生・大学生の活動の伴走支援を委託した。8 月にはキックオフ会、11 月には中間報告会、3 月には最終の報告会を開催した。

※ 「ハロー! ミュージアム助成」は、参加校の満足度は高く充実したものとなっている。財政面の仕組みづくりについては、公益財団法人みんなでつくる財団おかやまに委託した。今後の事業展開の参考とするため、岡山県内の全自治体における資源（バス等）の保有状況と文化活動に関する現状の把握を目的としたアンケート調査を県内 27 市町村の自治体と教育委員会を対象に実施した。

② グローバル化事業助成 1 件 60 万円

国際的人材育成や多文化共生につながる活動を行う団体等に対して助成した。

助成先	代表	申請活動名
居場所作りネットワーク (INE)	片山 浩子	外国にルーツのある親子の居場所と多文化共生社会への取組

③ 瀬戸内文化育成助成 2 件 60 万円（各 30 万円）

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成した。

助成先	代表	申請活動名
SANNAN 犬島プロジェクトチーム	東森 貢	地域を愛し地域から愛される子どもを育てる山南ふるさと学習
一般社団法人 犬島ととと倶楽部	岩井 智幸	犬島の関係人口を創る『くらしを楽しむワークショップ』

(4) 公募助成に準じる緊急を要する等の助成<助成総額 60 万円>(各 30 万円)

年度途中で申し出のあった緊急を要する教育文化活動に対して助成することとし、2024 年度は次の 2 件に助成した。

助成先	代表	申請活動名
公益財団法人 岡山文化芸術創造	越宗 孝昌	ハレノワ 1 周年記念事業「老いてもハレノワへ、いざゆかん！」
一般社団法人 岡山表町文化振興協会	原 憲一	街おこしのためのミュージカルコンサート

【2024 年度 助成事業一覧】

事業内容	助成件数	助成金額 (万円)
教育文化活動助成 (応募 272 件)	108	2,998
福武教育文化賞受賞者フォロー助成	13	390
特定助成	37	2,239
公募助成に準じる緊急を要する等の助成	2	60
合計	160 件	5,687 万円

3 研修会等開催事業

(1) 福武教育文化振興財団フォーラム

2024 年度は「次世代へのメッセージ」をテーマに、マイクロファイナンスに取り組み、社会課題解決型のビジネスを手掛ける慎泰俊氏を講師に迎え「未来の歩き方教室」を開催した。参加者のターゲットは 18 歳以下に設定し、保護者や引率者は参加可能とした。

「未来の歩き方教室」(講師：慎泰俊 氏)

- [実施日] 2024 年 12 月 14 日 (土)
- [場所] KURUN HALL (クルンホール) (杜の街グレース内)
- [対象] 18 歳以下
- [参加者] 約 100 名
- [共催] 公益財団法人 橋本財団
- [後援] 岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞・OHK
- [企画運営協力] NPO 法人 だっぴ

(2) and F 教室

地域で活動する個人・団体を対象に、共通課題の解決に繋がる研修として実施した。

識者・助成対象者等を講師に迎え、これまでの活動経験をもとに知見や知識を共有してもらい、助成対象者間の出会いや情報交換の場として参加者の高い満足度を得ることができた。

実施日	テーマ	講師	実施形態	参加者数
8/4	SNS の基本の「き」 —認知度 UP・集客・交流・発信でご縁を育む SNS 活用	小林美希 ええが Labo 代表	対面	14 名
10/20	資金調達の基本の「き」 —必要な要素を 1 つずつ整理して、ステップアップ!	森田悠太郎 公益財団法人みんなのでつくる財団 おかやま事務局長	対面	16 名
12/1	ファシリテーションの基本の「き」 —学び合い育ち合う対話の場をつくる方法	横山弘毅 高梁 100challenge 代表/岡山 県立高梁高校 地域連携コー ディネーター	対面 配信	19 名

4 調査研究事業

(1) 視察研修

県北で開催された「森の芸術祭 晴れの国・岡山」に、支援も兼ねて視察研修ツアーを実施した。

[実施日] 2024年10月5(土)・6日(日)

[場 所] 森の芸術祭実施各エリア (奈義・津山・奥津・蒜山・新見)

[参加者] 22名：理事長、理事、監事、評議員、助成事業審査委員、表彰事業選考委員、事務局スタッフ

[概 要] 初 日：義町現代美術館館長岸本和明氏をお招きし、自身の作品や森の芸術祭開催エピソードについての講演をいただいた。

2 日目：奥津・蒜山・新見エリアの約 10 作品を実行委員会の解説のもと鑑賞

(2) 公益法人情報交換会開催や各種研修・説明会等への参加

- ・ 岡山の文化芸術関係公益法人の第 27 回情報交換会を、岡山県文化連盟と共催で 2 月 26 日に開催し、西中島町の文化交流コモンズ旭坐の視察・情報交換・アートマネジメント研修を実施した。
- ・ 助成センター主催の助成財団フォーラム、関西財団の集い等、可能な限り参加した。
- ・ 令和 7 年度からの公益法人制度改正に伴う、内閣府主催のブロック説明会・新会計基準説明会等に参加し、情報収集に努めた。

(3) 「ハロー！ミュージアム」事業の展開方法についての調査・研究

- ・ ベネッセハウスミュージアム(直島)でのテスト実施 (1 校・10 名)
- ・ ハロー！ミュージアム実施現場の視察
(美術館 4 館学芸員・職員 6 名、大学教授 2 名、ファシリテーター経験者 2 名)
- ・ 富山県立美術館の学校教育との連携／「Find TAD!」プロジェクト ～美術館へおいでよ～視察及びヒアリング
- ・ 平塚市立美術館の「おしゃべり美術館ひらびあ一つま～れ 10 年記念展」(シンポジウム・鑑賞会)の視察及びヒアリング

5 広報事業

財団の活動に対する認知や公募助成の周知をより高めるべく次の施策を行った。また、瀬戸内国際芸術祭 2025 の前年に当たるため、企画発表会岡山をベネッセホールディングスと協力して開催した。

[巡回訪問]

- ・ 5 月から 6 月にかけて、表彰事業の候補者推薦依頼及び財団の活動周知等を目的に、行政、教育委員会等 21 カ所を巡回訪問した。

[公募助成周知]

- ・ 資金調達基礎講座(NPO 活動支援センター・ゆうあい主催)に参加(9 月 24 日)し、助成先候補団体・個人との相談機会を通じて、助成活用の広報活動及び現場の情報収集を実施した。
- ・ 岡山県・アートで地域づくり実践講座実行委員会主催「ART で地域づくり実践講座 in 美咲町」に参加 (1 月 11 日) し、修了予定者に対して公募助成制度を説明し、事前相談を行った。

[公募助成事前相談]

- ・ 事前相談 (対面・オンライン) で計 35 件 (昨年 25 件) の団体・個人に対応した。内、27 件から申請があった。

[財団公式 Web サイト]

- ・ 過去の助成対象を取材する「助成を訪ね歩く」、助成対象者が主催するイベントを掲載する「みんなの掲示板」、財団と関わりのある方のインタビュー「財団と人」など年間 44 回更新した。

[財団機関誌「ふえき」]

- ・ 年3回発刊(84~86号)。84号では、2024年度の教育文化活動助成対象者・団体108を紹介。85号では、市民活動に対して助成事業を行っている5団体の座談会を、86号では、福武教育文化賞の紹介、ハロー！ミュージアム事業の取材レポートを特集として掲載した。

[瀬戸内スタディツアー]

- ・ 中高生を対象として、瀬戸内国際芸術祭の島々をフィールドに、運営をNPO法人瀬戸内こえびネットワーク(こえび隊)に委託して年間3回3カ所(豊島・犬島・直島)を日帰りツアーで実施した。中高生が親しみやすく、参加しやすい行程や内容を取り入れた。参加者は昨年を上回り、延べ64名(昨年25名)が参加した。

[広告掲載]

- ・ 11月9日に、山陽新聞全県版にカラー全5段広告を出稿し、第6回福武教育文化賞受賞者と公募助成事業の広報を行った。

[瀬戸内国際芸術祭2025企画発表会 岡山等]

- ・ 瀬戸内国際芸術祭前年に当たり、瀬戸内国際芸術祭を岡山側から盛り上げる機運醸成のために、東京における企画発表会に準じて11月に岡山で開催。行政・自治体・メディア・観光・宿泊・交通・経済等幅広く声掛けして、約160名の参加を得て開催した。
- ・ おかやま観光コンベンション協会観光部会の瀬戸内国際芸術祭2025勉強会や岡山商工会議所文化観光委員会の勉強会等に協力した。

6 周年記念事業

2026年度に40周年を迎えるにあたり、記念事業(記念誌発行他)の計画検討を開始した。

財団運営

1 規程等の改正

2025年3月15日の第5回理事会において、資金運用規則の一部改正、就業規則の一部改正、育児・介護休暇等に関する規則の一部改正、職場におけるハラスメント防止に関する規則の一部改正を議案として提出し、承認を得て改正した。

また、同日開催の第2回評議員会において、資産管理規程の一部改正を議案として提出し、承認を得て改正した。

2 事務局

- ・ 体制面、人員数面については2023年度と大きな変化・変更はなかった。
- ・ 経理部門においては資産運用関係業務の増加により、一部経理業務（給与・年末調整等）を外部委託した。
- ・ 主催事業等の運営実務部分についても、委託・外注化を進め効率化を図ったが、助成事業の申請書・会計報告書等の事務局内チェックの強化、助成先活動の視察先数の増加、各事業の総括の充実、諸課題の解決施策等を充実させたことにより、職員の残業時間が大幅に増えた。次年度に向けては更なる効率化・外注化を図り、中期的には人員増等を検討していきたい。
- ・ 2025年度から公益法人制度が変更となることから、制度改革の全体像把握、各種法令やガイドライン、会計基準等の変更内容等の把握及び対応策などについて、各種研修等へ参加して情報収集に努めた。

Ⅱ 事業報告の附属明細書

1 役員等に関する事項

令和7年3月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	現職・元職
名誉顧問	福武總一郎	平成27年6月13日	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問
代表理事 理事長	松浦俊明	重任 令和6年6月15日	株式会社南方ホールディングス（分割設立・本店東京） 代表取締役
代表理事 副理事長	片山浩子	重任 令和6年6月15日	学校法人アジアの風 理事長
常任理事	小川隆正	重任 令和6年6月15日	元株式会社ベネッセホールディングス 会長室室長
理事	谷一尚	重任 令和6年6月15日	一般財団法人林原美術館 館長
	福武美津子	重任 令和6年6月15日	株式会社イルグラノー 代表取締役
	森田 潔	重任 令和6年6月15日	川崎医科大学 特任教授 元岡山大学 学長
監事	福原一義	重任 令和6年6月15日	福原一義公認会計士事務所 所長
	和田朝治	新任 令和6年6月15日	和田・小田法律事務所 弁護士
評議員	大原あかね	重任 令和6年6月15日	公益財団法人大原芸術財団 代表理事
	鍵本芳明	新任 令和6年6月15日	前岡山県教育委員会 教育長 岡山大学学術研究院教育学域 教授
	越宗孝昌	重任 令和6年6月15日	株式会社山陽新聞社相談役
	下妻道郎	重任 令和6年6月15日	株式会社南方ホールディングス（分割設立・本店東京） 取締役
	高橋正勝	新任 令和6年6月15日	株式会社ベネッセホールディングス 本社・直島統轄部 部長
	中島義雄	重任 令和6年6月15日	ナカシマホールディングス株式会社 常務取締役
	原 憲一	重任 令和6年6月15日	RSKホールディングス株式会社 取締役相談役
	守安 收	重任 令和6年6月15日	岡山県立美術館 館長
	横田有次	新任 令和6年6月15日	前岡山県 副知事 岡山県信用保証協会 会長

2 職員等に関する事項

令和7年3月31日現在

職名	氏名	採用年月日	常勤・非常勤	報酬	担当
事務局長	塩見真人	令和5年4月1日	常勤	有	総括 教育文化事業総括
職員	三宅千代子	平成13年5月1日	常勤	有	経理・庶務・表彰事業
職員	和田広子	平成20年4月1日	常勤	有	助成事業・研修会等開催・ 調査研究・広報事業
職員	露崎翔子	令和5年4月1日	常勤	有	表彰事業・助成事業その他

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催又は提案年月日	議事事項	会議の結果
令和6年5月24日 (第1回) 書面決議	第1号提案 基本財産について 第2号提案 2023年(令和5年)度事業報告及び決算の承認の件 第3号提案 2024年(令和6年)度定時評議員会開催の件 報告事項1 2023年(令和5年)度資金運用状況報告 報告事項2 2023年(令和5年)度助成事業報告	5月31日 可決
令和6年6月15日 (第2回)	第1号議案 評議員候補者の提案の件 第2号議案 理事及び監事候補者の提案の件 第3号議案 2024年(令和6年)度表彰事業選考委員会委員の選任の件 第4号議案 就業規則一部改正の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 2024年(令和6年)度資金運用について	6月15日 可決
令和6年6月15日 (第3回)	第1号議案 理事長、副理事長及び常任理事の選定の件	6月15日 可決
令和7年1月14日 (第4回) 書面決議	第1号提案 2025年(令和7年)度 助成事業審査委員会委員の選任の件 第2号提案 2024年(令和6年)度 第2回評議員会開催の件	1月22日 可決
令和7年3月15日 (第5回)	第1号議案 2024年(令和6年)度 収支予算書の補正の件 第2号議案 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条第1項に基づく理事会の承認の件 第3号議案 特定費用準備資金の保有について(公募助成資金引当預金) 第4号議案 2025年(令和7年)度 事業計画書・収支予算書の件 第5号議案 資産管理規程の一部改正の件 第6号議案 資金運用規則の一部改正の件 第7号議案 就業規則の一部改正の件 第8号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正の件 第9号議案 職場におけるハラスメント防止に関する規則の一部改正の件 報告事項1 代表理事等職務執行状況報告 報告事項2 2024年(令和6年)度 資金運用状況報告、 2025年(令和7年)度 資金運用方針について	3月15日 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年6月15日 (定時)	第1号議案 2023年(令和5年)度事業報告及び決算の承認の件 第2号議案 評議員選任の件 第3号議案 理事及び監事選任の件 報告事項1 2023年(令和5年)度助成事業報告 報告事項2 2023年(令和5年)度資金運用状況報告 報告事項3 2024年(令和6年)度資金運用について	6月15日 可決
令和7年3月15日 (第2回)	第1号議案 2024年(令和6年)度 収支予算書の補正の件 第2号議案 2025年(令和7年)度 事業計画書・収支予算書の件 第3号議案 資産管理規程の一部改正の件	3月15日 可決

4 行政庁等への申請・届出等に関する事項

申請・届出等年月日	申請・届出等事項	備 考
令和6年6月28日	事業報告等の提出	岡山県知事
令和6年6月28日	ベネッセ株売却に伴う、定款第5条第2項第1号関係。基本財産の別表削除	岡山県知事
令和7年3月25日	事業計画書等の提出	岡山県知事

5 主要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
令和3年10月1日(自動更新)	株式会社あさひ印刷	助成関連事業の支援業務 (助成事業支援システム等)
令和4年4月1日(自動更新)	株式会社吉備人	公式 Web ページ更新作業請負業務
令和6年4月1日	特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク	中高生向け瀬戸内スタディツアー企画・運営
令和6年5月1日	特定非営利活動法人だっぴ	高校生・大学生アクション助成の伴奏支援
令和6年5月1日	一般社団法人はれとこ	取材ライター業務委託
令和6年10月15日	公益財団法人みんなでつくる財団おかやま	ハロー！ミュージアムプロジェクト 仕組みづくり委託

6 寄附金等に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備 考
該当なし				

7 行政庁の指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
該当なし		

8 税法上の収益事業の有無

届出事業の種類	収 入	備 考
該当なし		

9 その他の注意事項

該当なし